



ルドゥーテの花がなぜ人々を惹きつけるのか・・

ルドゥーテの花は、ただ写実的に描かれているだけの様に見えるのに、なぜ多くの人々を惹きつけるのか・・・。

それは、ルドゥーテが、自然の花を慈しみ深く理解し、それぞれの種の理想の姿を描こうとしたからだと思うのです。

ただし、理想の姿を描くことほど難しいことはありません。

例えば、レオナルド・ダ・ヴィンチはモナリザを一生涯描き続けたと言い伝えられているように、理想の姿はそう易々と描けるものではないのです。

花を観察し、その美しい姿を忠実に描き写すのも、そんなに簡単なことではないでしょう。しかし、どれほど正確無比に描かれていようと、必ずしもそれに惹かれるとは限らないのです。

実在するものの、こよない理想の姿を追求すればするほど、実在するものから次第に離れ、空想（ファンタジー）や想像（イマジネーション）の領域のものとなります。

そこには創造（クリエーション）があり、創造なくして理想の姿は描けません。

そして、ルドゥーテの花は、理想の姿を描こうとして現実の花を超え、創造されたアートそのものの、人々の心を捉えて離さない、まさに超現実的な花のイコンになったのです。